

A6680 営団3000系 登場時 2両セット

予価：¥15,400 (本体価格 ¥14,000)

マグネット式紙箱入 (カートン入数：24)



商品形態 Nゲージ塗装済完成品 (主素材：ABS樹脂製)

対象年齢14歳以上

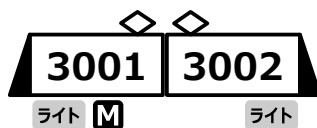
実車紹介

3000系は1961年の地下鉄日比谷線開業に伴い登場しました。東武線・東急線との直通運転に対応した規格「2号線車両規格」に基づいた18m級3扉の車体で、営団(現・東京メトロ)として初のステンレス車体で、前頭部は丸みをおびた形状でのちにファンから「マッコウクジラ」と呼ばれ親しまれました。開業当初は2両編成で前面下部から側面下部にかけてスカートが取り付けられており外観上の特徴でした。また側面ドア窓が大きいことやベンチレーターも八角形のものが取り付けられており後年の仕様とは異なっていました。

その後輸送力増強のため主に中間車を増備し4両編成、6両編成となり1971年以降は8両編成となりました。後継となる03系の導入により1989年より廃車が開始され、1994年にさよなら運転を行い全車が引退しました。一部は他社へ譲渡されましたが既に引退しています。

東京地下鉄株式会社商品化許諾済

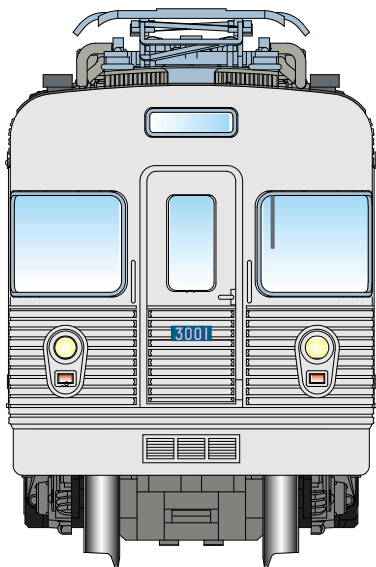
編成図



ヘッドライト
テールライト
前面表示器 点灯

M 動力車

商品概要

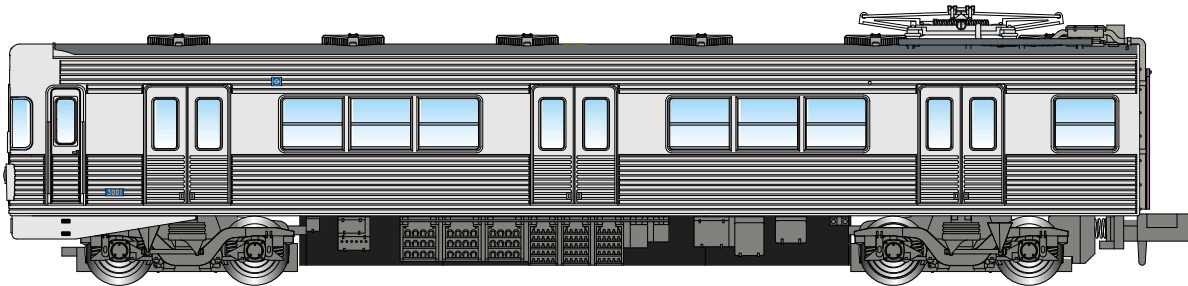


※図は開発中の図面を基にしています。製品とは異なります

マッコウクジラ、デビュー当初の姿!

- 前面方向幕の位置が高い初期型を再現
- 前面窓の位置・寸法・ライトケースの形状を見直し
- マイクロエース私鉄シリーズのさらなる充実
- A6681(2017年6月出荷)を基に、1961年の日比谷線開業当初の姿を再現したバリエーション製品
- ベンチレーターは全車八角形で台車はFS336
- ドア窓は大窓タイプで客用窓のサッシが中心にある姿
- 前面下部から乗務員ドア下部まで伸びたスカートを再現

※部品共用のため、
一部実車と異なる部分があります



付属品

シール

オプション

室内灯



幅狭室内灯

(G0005/G0006/G0007/G0008)

カプラー



マイクロカプラー 自連・グレー

(F0004)※運転台寄りには取付出来ません



株式会社

マイクロエース

TEL：048-444-2944

FAX：048-445-3407

製品の仕様・価格は予告なく変更する場合がありますので予めご了承をお願いします
本資料の改変、写真およびイラストの複製・改変・二次使用を禁止します
記載の内容は弊社の調査・見解に基づくものです